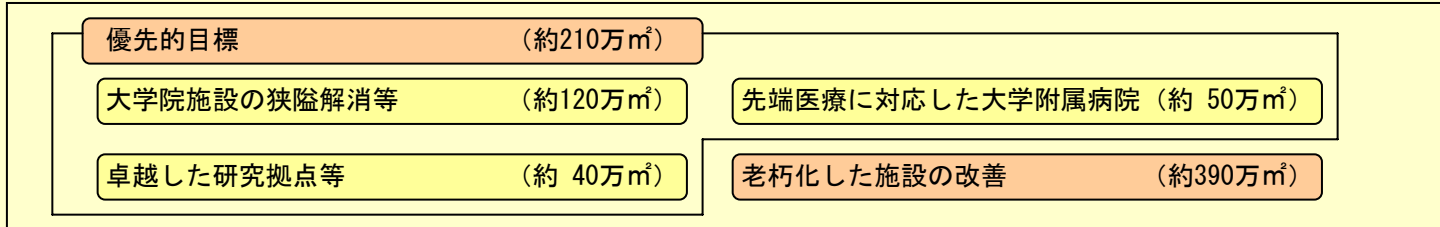


『国立大学等施設緊急整備5か年計画』の一層の推進

H13.4 第2期科学技術基本計画を受け策定

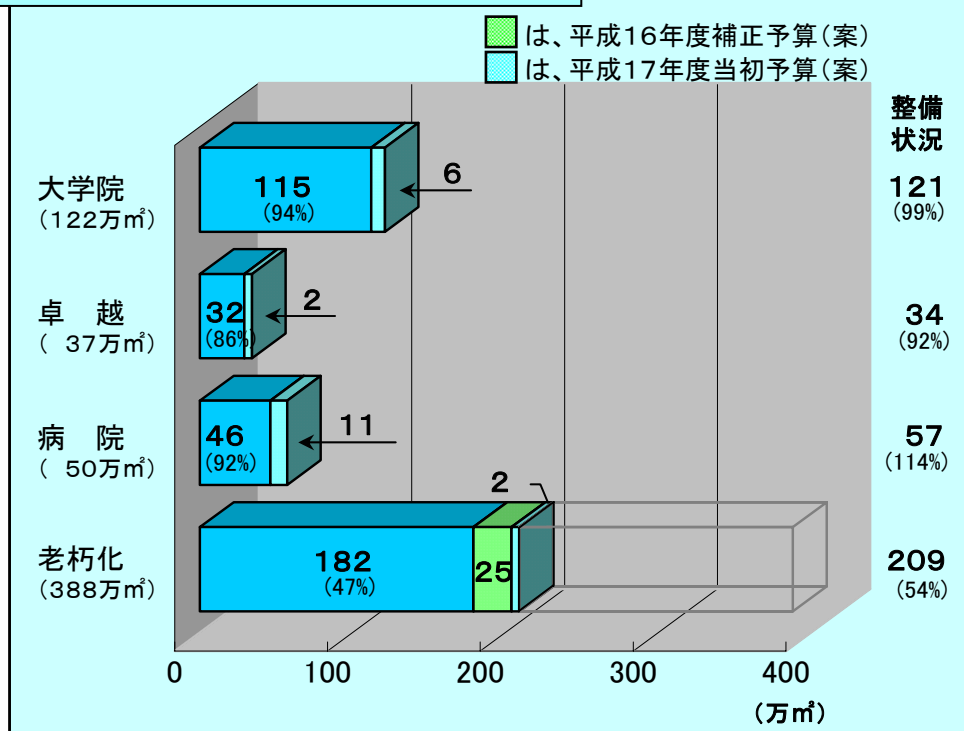
○ 重点的整備 ～緊急的に必要な整備約600万㎡（所要額約1兆6千億円）



○ システム改革 ～大学改革と一体となった施設の効率的・弾力的利用などに取り組む

- ・全学的な視点に立った施設管理運営システムの構築
- ・各学部等が共有する総合的・複合的な研究棟を整備
- ・PFI等新たな整備手法の導入

重点的、計画的な施設整備の実施



システム改革の推進

1. 施設の点検・評価に関する委員会の設置

52% (平成12年) → 100% (平成15年に達成)

2. 全学的な視点に立った施設管理運営システムの構築

施設の点検・評価の結果及び教育研究活動等の状況に応じ、**使用面積の再配分**を行っている学校数の割合

22% (平成12年) → 84% (平成16年)

3. 弾力的・流動的に利用できる共同利用スペースを整備

共同利用スペースを確保した学校数の割合

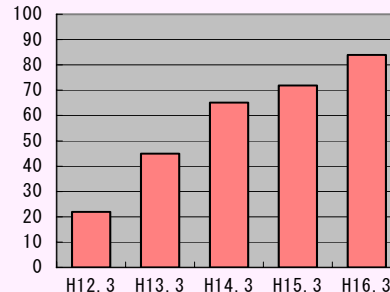
20% (平成12年) → 85% (平成16年)

4. PFI等新たな整備手法の導入

平成15年度PFI実施件数 14件 (国のPFIの約5割)

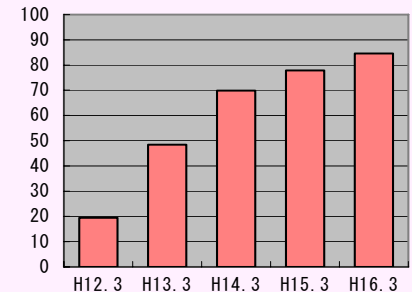
(平成16年度予定件数 10件)

学校数の割合 (%)



使用面積の再配分

学校数の割合 (%)



共同利用スペースの確保